

DIALOG(R) File 351:Derwent WPI
(c) 2008 Thomson Reuters. All rts. reserv.

0003680462

WPI ACC NO: 1986-123365/ 19 86 19

XRAM Acc No: C1986-052831

Flexible seaweeds paper prepn. - from fine chaetomorpha fibre

Patent Assignee: UENO T (UENO-I)

Patent Family (1 patents, 1 countries)

| Patent Number | Kind | Date | Application Number | Kind | Date | Update |
|---------------|------|----------|--------------------|------|----------|----------|
| JP 61063800 | A | 19860401 | JP 1984186112 | A | 19840905 | 198619 B |

Priority Applications (no., kind, date): JP 1984186112 A 19840905

Patent Details

| Number | Kind | Lan | Pg | Dwg | Filing Notes |
|-------------|------|-----|----|-----|--------------|
| JP 61063800 | A | JA | 2 | 0 | |

Alerting Abstract JP A

Seaweed paper is obtd. from seaweed fibre, i.e. fine chaetomorpha fibre as raw material.

ADVANTAGE - Paper obtd. from the fine chaetomorpha fibre is interlaced with the fine fibre and has excellent physical properties, e.g. high tensile strength, flexibility and mothproofing properties.

ADVANTAGE - In an example, seaweed gathered from seashores and sea bottom is dried and exposed to the sun for about 10 hrs. The dried seaweed is immersed in water and dust and sand adhered to the seaweed removed and the resultant further exposed to the sun and sprayed with water for about 10 days. About 10wt.% of fluorescent agent and seaweed paste are added and the resultant finely divided in a mixer to 5-20 mm length. The finely divided seaweed is heated with hot water to give a seaweed soln. Paper is mfd. from the soln. and raw material for Japanese paper.

Title Terms/Index Terms/Additional Words: FLEXIBLE; SEAWEED; PAPER; PREPARATION; FINE; FIBRE

Class Codes

(Additional/Secondary): D21H-005/14

File Segment: CPI

DWPI Class: F09

Manual Codes (CPI/A-M): F05-A02A; F05-A06

?

Ref. 6

⑩ 日本国特許庁 (J P)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭61-63800

⑬ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)4月1日

D 21 H 5/14

7199-4L

審査請求 有 発明の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称 海藻紙

⑯ 特 願 昭59-186112

⑰ 出 願 昭59(1984)9月5日

⑱ 発 明 者 上 野 孝 三重県度会郡南勢町磯浦八番地
⑲ 出 願 人 上 野 孝 三重県度会郡南勢町磯浦八番地
⑳ 代 理 人 弁理士 岡 賢 美

明 細 書

1. 発明の名称

海藻紙

2. 特許請求の範囲

(1) 海藻「ホソジュズモ」の繊維を原料として抄造したことを特徴とする海藻紙。

3. 発明の詳細な説明

「産業上の利用分野」

本発明は海藻の繊維から生成され、従来の紙類と同様に使用する海藻紙の提供に関するものである。

「従来の技術」および「発明が解決しようとする問題点」

一般に紙には、「こうぞ」「みつまた」等の剥皮繊維や「木材」「マニラ麻」等のパルプを原料とする和紙と、「えぞまつ」「とどまつ」等の木材、或は「わら」「ぼろ」等の植物繊維を処理してパルプとし、これを抄造した洋紙があり、それぞれの特徴を有して広く用いられている。

本発明は、それ等の従来の紙の既定概念を脱す

る海藻繊維を原料とすることに着目して成されたもので、従来広く日本近海に生成し無用の海藻として廃棄されている海藻繊維を活用した新規の海藻紙を提供し、併せて水産資源の有効活用を図るのが目的である。

「問題点を解決するための手段」

以上の目的を達成する本発明は「日本近海の太平洋岸において、広く分布している海藻「ホソジュズモ」(学名)の繊維を原料として抄造した海藻紙」から成っている。

「作用」

以上の本発明の海藻紙は、極めて繊細な繊維の「ホソジュズモ」を原料とし、その繊維が多層に交錯重合して生成されるので、筆の走り、ならびに墨ののりが良く、かつ抗張力、粘性等の物理的性質に優れると共に虫がつかない耐虫性を有する等の特有の性能を奏する作用がある。

「実施例」

以下、本発明一実施例の製法を引用して詳しく説明する。

まず、本発明の海藻紙に用いる原料は、学名「ホソジ・ズモ」の海藻であり、広く日本近海の太平洋沿岸等に多量に自然生成しており、従来は無用のものとして廃棄されている緑色の細長い糸状の繊維から成る海藻である。

以下、海藻紙の製造手順に従って番号を付し説明する。

(1) 採集

春から秋にかけて、海底の砂地に生成しているものを刈り取ったり、浜に打上げられたものを集めて採集する。

(2) 天日干し

採集したものを約10日間天日に干し、風雨に晒す。

(3) 再さらし

(2)によって晒したものを再び水に戻し、水の中で付着している砂、塵芥等の異物を除去し、除去したものを、さらに天日、雨又は散水して約10日間晒し、漂白する。

(4) 細断

なり、筆、ペン、鉛筆の走り、ならびに墨、インキ、鉛筆ののりが極めて良く、筆記用物品としての良好な性質を帯有することになる。

そして、紙としての抗張力、粘り、腰の強さ等の物理的性質にも優れると共に、海藻特有の成分を含有する為、虫がつかない耐虫性があり、長期間の保存にも変質変形しない紙としての優れた性能を有する特徴がある。

「発明の効果」

以上の様に本発明は、紙の従来概念を打破し、海藻繊維を原料とする海藻紙を提供するもので、紙としての筆記性ならびに抗張力等の物理的性質に優れると共に耐虫性を有し、有用な紙として広く一般に活用し得る効果を有する。さらに、本発明は現に多量に自然生成し、従来無用のものとして廃棄放置され、ヘドロ化して海中や海岸汚損の原因となった水産資源の有効活用を図り、かつその有効利用によって海岸等の環境浄化に貢献する社会的有用な効果がある。

以上の漂白した海藻を、水で溶くと共に、さらに漂白を促進させるための発光剤と、紙の腰を強くするための海藻糊（鬼草類）を約10%（重量%）加えてミキサーにかけて約5mm～20mmの寸法に攪拌し細断する。

(5) 細断攪拌した海藻の煮詰め

細断攪拌した海藻を、沸騰した湯によって煮ながら攪拌する。そして煮つめた海藻に水を加えてうすめて海藻液を生成する。

(5) 抄造

(5)の海藻液を従来の和紙の製法と同様に、「すの子」に白布を敷いたものに流し込み、天日で5～6時間乾燥して仕上げる。

以上によって海藻紙が生成される。なお前記(4)の細断のとき、「みつまた」「こうぞ」等の繊維を若干添加すると生成した海藻紙が収縮しないので好ましい。

以上によって生成された海藻紙は、「ホソジ・ズモ」特有の極めて繊細な繊維が多層に交錯重合して生成されているので、表面は極めて滑らかに